

2010年3月期 決算説明会 主なQ&A

Q. 海外展開の具体的内容は。

A. 当社ビジネスモデルに関心を持つ各国のセブン-イレブンから以前より相談を受けており、具体的な議論を進めているが、現段階では詳細をお話できない。形態としては、ATMの単なるオペレーターとして又は銀行として参入する等、様々な選択肢があると考えている。

Q. 今回、配当性向を「最低」35%としたが、その意図は。

A. 今期は減収減益を見込むが、こうした中にあっても「安定」配当を維持したいとの思いを「最低」に込めた。配当性向そのものを更に高めるべきとの意見もあろうが、世界的な金融経済環境の厳しさを考えれば、内部留保を増やし、より経営基盤を磐石にすることも重要であり、現段階では数値目標そのものを変えるつもりはない。

Q. 10年4月の平均利用件数が前年比プラスに転じた要因について教えて欲しい。

A. お客様のニーズが強い場所から優先的に設置を進めていることや、利用が増えるよう継続的に努力していることの成果が全体として現れているということではないか。

Q. 社長交代の理由は。

A. 新たなビジネスの展開や投資家IR等、対応すべき案件の間口が広がっているため、これらに円滑に対処すべく代表取締役を2人とし、体制を固めたもの。

以 上